

平成29年度
広島県道徳教育研究協議会

道徳科における
「主体的、対話的で深い学び」
の授業とは

平成30年2月9日(金)

文部科学省初等中等教育局教育課程課
教科調査官 浅見 哲也

道徳科における
「主体的、対話的で深い学び」の授業とは

内容

- ・道徳科の目標の理解
- ・新学習指導要領の趣旨
- ・主体的・対話的で深い学び
- ・道徳科の評価
- ・道徳科の授業で大切にしたいこと



道徳科の目標の理解

道徳教育と道徳科の関係

道徳教育は、特別の教科である道徳(以下「道徳科」という。)を要として学校の教育活動全体を通じて行うもの…

「小・中学校学習指導要領 第1章 総則」

新 道徳教育の目標

道徳教育は、教育基本法及び学校教育法に定められた教育の根本精神に基づき、自己の生き方を考え、主体的な判断の下に行動し、自立した人間として他者と共によりよく生きるための基盤となる道徳性を養うことを目標とする。

新 小・中学校学習指導要領「第1章総則」の第1の2(2)

新 道徳科の目標

第1章総則の第1の2の(2)に示す道徳教育の目標に基づき、よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を(広い視野から)多面的・多角的に考え、自己の(人間としての)生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。

「新 小・中学校学習指導要領 第3章 特別の教科 道徳」

■ 道徳性の諸様相(学校教育における捉え方)

道徳的判断力
それぞれの場面で善悪を判断する能力

道徳的心情
道徳的価値の大切さを感じ取り, 善を行うことを喜び, 悪を憎む感情

道徳的实践意欲
道徳的判断力や道徳的心情を基盤とし道徳的価値を実現しようとする意志の働き

道徳的態度
道徳的判断力や道徳的心情に裏付けられた具体的な道徳的行為への身構え

道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる

道徳的判断力
道徳的心情
道徳的实践意欲
道徳的態度

道徳性を構成する諸様相

・ 一人一人の児童(生徒)が道徳的価値を自覚し, 自己の(人間としての)生き方についての考えを深め, 日常生活や今後出会うであろう様々な場面, 状況で, 道徳的価値を実現するための適切な行為を主体的に選択し, 実践することができるような**内面的資質**

新学習指導要領の趣旨

学習指導要領改訂に向けたこれまでの動き

27. 8. 26 教育課程企画特別部会における論点整理について(報告)

- ・ 2030年の社会と子ども達の未来
- ・ 新しい学習指導要領等が目指す姿 等

28. 8. 26 次期学習指導要領等に向けたこれまでの審議のまとめ

28. 12. 21 学習指導要領の改善及び中央教育審議会答申に必要な方策等についての答申

- ・ 子供たちに求められる資質・能力と教育課程の課題 等

29. 3. 31 次期学習指導要領が文部科学省告示として公示

育成すべき資質・能力の三つの柱

新しい時代に必要となる資質・能力
何ができるようにするか

- ・ 生きて働く「知識及び技能」の習得
何を理解しているか、何ができるか
- ・ 未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」の育成
理解していること、できることをどう使うか
- ・ 学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」の涵養
どのように社会・世界と関わり、よりよい人生を送るか

新 道徳科の目標

第1章総則の第1の2の(2)に示す道徳教育の目標に基づき、よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を(広い視野から)多面的・多角的に考え、自己の(人間としての)生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる

学習活動に着目

「新 小・中学校学習指導要領 第3章

知識・技能

道徳的諸価値の意義及びその大切さなどを理解すること

- ・人間としてよりよく生きる上で、道徳的価値は大切なことであるという理解(価値理解)
- ・道徳的価値は大切であっても、なかなか実現することができないこと(人間理解)
- ・道徳的価値を実現したり、実現できなかったりする場合の感じ方、考え方は多様であるということを前提とした理解(他者理解)

思考力・判断力・表現力等

自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の(人間としての)生き方についての考えを深めること

小学校

- ・道徳的価値に関わる事象を自分自身の問題として受け止める
- ・他者の多様な考え方や感じ方に触れることで、自分の特徴などを知り、伸ばしたい自己を深く見つめる
- ・生き方の課題を考え、それを自己の生き方として実現しようとする思いや願いを深める 等

中学校

- ・人生の意味をどこに求め、いかによりよく生きるかという人間としての生き方を主体的に模索する
- ・人間についての深い理解を鏡として行為の主体としての自己を深く見つめる 等

学びに向かう力・人間性等

自己の(人間としての)生き方を考え、主体的な判断の下に行動し、自立した人間として他者とともによりよく生きるための基盤となる道徳性

学校教育の道徳教育

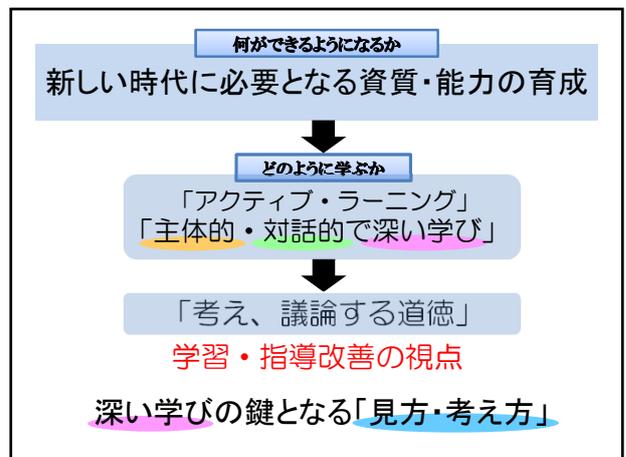
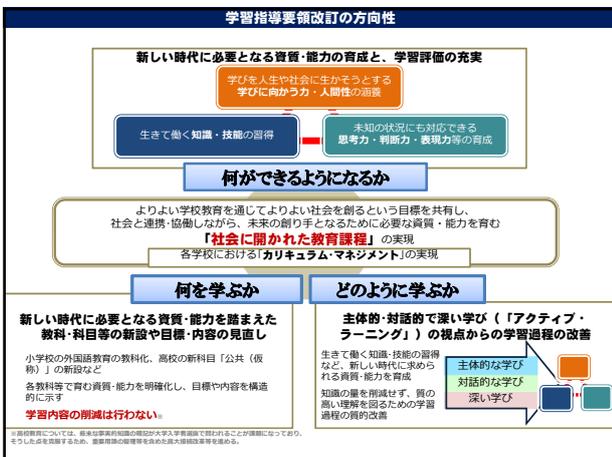
- ・道徳的価値が大切なことなどを理解し、様々な状況下において人間としてどのように対処することが望まれるのか判断する能力(道徳的判断力)
- ・人間としてのよりよい生き方や善を指向する感情(道徳的心情)
- ・道徳的価値を実現しようとする意思の働き、行為への身構え(道徳的实践意欲と態度) など

道徳科の目標

第1章総則の第1の2に示す道徳教育の目標に基づき、よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を(広い視野から)多面的・多角的に考え、自己(人間としての)生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。

育成すべき資質・能力

- 「知識及び技能」
- 「思考力・判断力・表現力等」
- 「学びに向かう力・人間性等」



深い学びの鍵となる「見方・考え方」

学習指導要領 第1章 総則 第3の1(1)

(1) …特に、各教科等において身に付けた知識及び技能を活用したり、思考力、判断力、表現力等や学びに向かう力、人間性等を發揮させたりして、学習の対象となる物事を捉え思考することにより、各教科等の特質に応じた物事を捉える視点や考え方(以下「見方・考え方」という。)…

深い学びの鍵となる「見方・考え方」

道徳科の目標の学習活動と同じであると言える

多様な事象を、道徳的諸価値の理解を基に自己の関わりで(広い視野から)多面的・多角的に捉え、自己の(人間としての)生き方について考えること

中央教育審議会(答申)28. 12. 21

主体的・対話的で深い学びの実現

道徳科の「アクティブ・ラーニング」

答えが一つではない道徳的な課題を一人一人の児童生徒が自分自身の問題と捉え、向き合う「考え、議論する道徳」の実現

主体的・対話的で深い学び

考え、議論する道徳

これまでの道徳の時間の授業の課題

- × 主題やねらいの設定が不十分な単なる生活体験の話合いの指導
- × 読み物教材の登場人物の心情理解のみに終始する指導(読み物道徳・読み取り道徳)
- × 望ましいと分かっていることを言わせたり書かせたりすることに終始する指導(押し付け道徳)

これからの道徳科の授業

主体的・対話的で深い学び
「考え、議論する道徳」

道徳科の目標の中に示された学習活動に着目

道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を(広い視野から)多面的・多角的に考え、自己の(人間としての)生き方についての考えを深める学習

「主体的な学び」の視点

- 問題意識をもつ
- 自分自身との関わりで考える
- 自らを振り返る 等

主体的な学び

問題意識を持つ

- ・子供一人一人の実態把握
- ・考えてみたい課題、切実な課題
- ・学習課題(問題)等の投げかけ 等



埼玉県滑川町立月の輪小学校



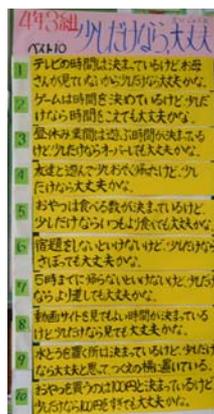
福岡県大野城市立大利小学校

導入において、本時のねらいに関する子供たちの実態から授業で考え、話し合っていくことを伝え、問題意識をもたせる。

主体的な学び

自分自身との関わりで考える

- ・共通体験の想起、活用(導入・展開・終末等)
- ・アンケートの活用(導入・展開・終末等)
- ・発問の工夫と意図的指名 等



日常生活における子供達の実態を共有し、自分自身に関わるものとして考えられるようにする。

山口県周南市立岐山小学校

主体的な学び

自らを振り返る

- ・個人で考える場や方法の工夫
- ・自分自身の変容の確認
- ・これからの生き方への希望や課題をもつ 等



自分の考えをもって少数で話し合い、友達のことを聞き、自分の考えを深める。

最後には、また一人で考え、自己の(人間としての)生き方について考えを深めていく。



仙台市立八木山中学校

「対話的な学び」の視点

- 協働し、対話する
- 多面的・多角的に考える
- 学級経営の充実を図る 等



世田谷区立松沢小学校



名古屋市立西築地小学校



北九州市立浅川小学校



網走市立白鳥台小学校



福岡県大野城市立大和小学校



埼玉県深谷市立豊里小学校

地域の方や保護者、職員等の授業への参加により、**大人との対話**を行い、**道徳的価値の意義**について考えを深めていく。

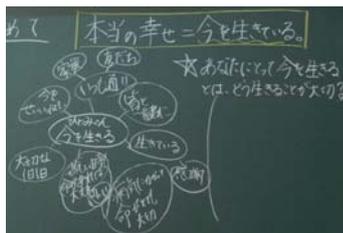


埼玉県深谷市立藤沢小学校

対話的な学び

 多面的・多角的に考える

- ・価値理解、人間理解、他者理解
- ・考える視点を固定化しない発問の工夫
- ・思考を可視化(見える化)した板書の工夫 等



子供たちから出された考えを**構造的な板書**で示すことで、子供たち自信が自分の立ち位置を視覚的に捉えられ、他者の考えを取り入れつつ、自己の生き方について考えを深めることができる。

千葉市立園生小学校



板書の工夫によって、**知的理解と実際の行動とのズレ**を明らかにし、**問題意識**をもって意欲的に話し合う事ができる。

高松市立太田南小学校

対話的な学び

 学級経営の充実を図る

- ・多様な意見を認め合える雰囲気づくり
- ・発言する声の大きさ、聞く態度の指導
- ・共に学ぼうとする教師の姿勢 等

発表者の顔を見て話を傾聴する子供たち

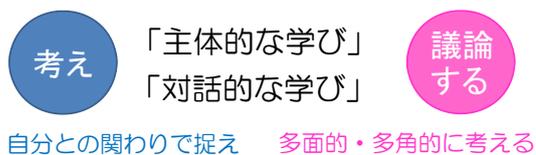


横浜市立白根小学校

授業者が生徒の中に入り、共に学び合う



群馬大学教育学部附属中学校



教師の明確な意図により
「深い学び」へと向かう。

様々な場面、状況において、道徳的価値を実現するための問題状況を把握し、適切な行為を主体的に選択し、実践できるような資質・能力を育てる学習とする。

道徳科における質の高い多様な指導方法

これらは多様な指導方法の一例であり、それぞれが独立した指導の「型」を示しているわけではない。

道徳科における具体的な学習プロセスは限りなく存在し得るもの

深い学び

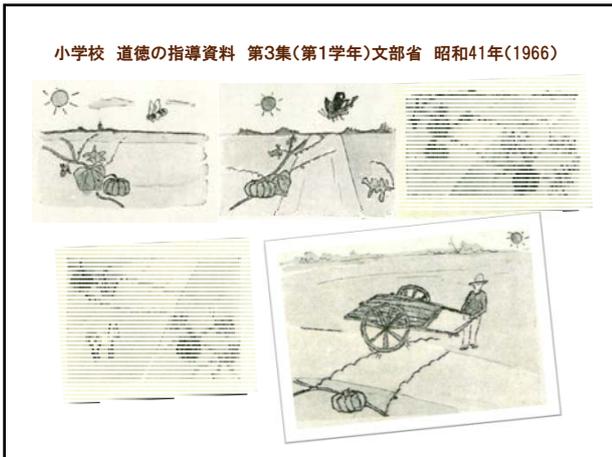
読み物教材の登場人物への
自我関与が中心の学習

登場人物の気持ちに共感する。



登場人物に共感して、自分の体験から
気持ちを考える。

自分との関わりで考える



道徳授業の実際 (例)

発問の意図
子供たち自身が、わがママを注意されたときの気持ちを考えさせたい。

みつばちやちょうに注意されたとき、かぼちゃはどんな気持ちかな？

わがママを注意されたときは、どんな気持ちだったかな？

自分との関わりで考えさせるための発問例

自分だったら、どうしますか？

この発問の仕方の長所と短所

深い学び

問題解決的な学習

児童生徒自身が興味や関心から問題を取り上げ、これまでの知識や経験を基に、作業や話し合い等によって問題を解決する主体的な学習

↓

問題解決の過程を取り入れた学習

問題解決的な学習

問題解決的な学習例

社会科

社会的事象

問題の発見、設定、特定
米作りが盛んな都道府県を調べよう

解決に向けた追究、探求 (調べる、確かめる)
統計資料、インターネット、取材友達と話し合う

問題の解決 (まとめる)
資料などに基づく一定のまとめ

問題解決的な学習例

理科

自然現象

問題の発見、設定、特定
かげの長さはどのように変わるのだろうか

解決に向けた追究、探求 (調べる、確かめる)
観察、実験など友達と話し合う

問題の解決 (まとめる)
観察結果、実験結果に基づく一定のまとめ

問題解決的な学習例 **あなたにとって** 

問題の見、設定、特定	本当の親切とはどのようなものだろう 道徳的価値に関わる事象
解決に向けた追究、探求 (調べる、確かめる)	自分の体験やそれに伴う感じ方や考え方を基に自分なりの考えをもち、友達との話し合いを通して道徳的価値のよさや難しさを確かめる
問題の解決 (まとめる)	本当の親切とはこのようなものだ (一般的なまとめ) わたしにとっては… 

小学校学習指導要領解説 特別の教科 道徳 編

道徳科における問題とは道徳的価値に根差した問題であり、単なる日常生活の諸事情とは異なる。

問題解決的な学習の道徳的な問題例

- ①道徳的価値が**実現されていないこと**に起因する問題
- ②道徳的諸価値について**理解が不十分**又は**誤解**していることから生じる問題
- ③道徳的諸価値のことは理解しているが、それを**実現しようとする自分とそうでない自分との葛藤**から生じる問題
- ④複数の道徳的価値の間の**対立**から生じる問題

28.7.22「特別の教科 道徳」の指導方法・評価等について(報告)より

深い学び

道徳的行為に関する体験的な学習

役割演技は、登場人物の気持ちや考えを感じ取るだけではない。

↓

頭で考えたり、口で言うのは簡単だけれど、実際に行動に移すことが、どれだけ大変なのかを実感できる**疑似体験**もできる。

道徳的行為に関する体験的な学習

- 実際に挨拶や丁寧な言葉遣いなど**具体的な道徳的行為**をして、礼儀のよさや作法の難しさなどを考える 
- 相手に思いやりのある言葉を掛けたり、手助けをして親切についての考えを深めたりする 

道徳的行為に関する体験的な学習例

役割演技により二人の関係を修復する**疑似体験**

くみこ

よこい

よしこさん、さっきはごめんね。都合も聞かずに急に怒ったりして。

私こそ、急に用事ができて約束が守れなくてごめんね。

いいよ。今度また、遊ぼうね。

うん、ありがとう。

学習指導過程や指導方法の工夫の配慮事項

児童(生徒)の発達の段階や特性等を考慮し、**指導のねらいに即して**、問題解決的な学習、道徳的行為に関する体験的な学習等を**適切に取り入れる**など、指導方法を工夫すること。その際、それらの活動を通じて学んだ内容の**意義などについて考える**ことができるようにすること。また、特別活動等における多様な実践活動や体験活動も道徳科の授業に生かすようにすること。

小・中学校学習指導要領解説 第3章「第3 指導計画の作成と内容の取扱い」の2

考え、議論する道徳

考える
主体的に
自分との関わりで

多様な感じ方、
考え方と出合い
交流する

自分の感じ方、考え方を
明確にする

自分の感じ方、考え方を
より明確にする

主体的な学び

児童生徒が
真剣に考えること



対話的な学び

児童生徒が
共に語り合うこと



深い学び

教師が指導の
明確な意図をもつこと



道徳科の評価

ある道徳の授業での1コマです。

そうじゃないんだけどなあ...

よし子は、どんな気持ちでバスに乗る列に並んでいたのでしょうか？

えっ、そうなの？

並んでいなかったんだから、先にバスに乗ろうとして何がいけないんだ！

てつやくん、そんなこと言ったら、道徳の成績が下がるよ。お母さんが、今度、道徳も評価するって言っていたよ！

てつや

道徳の時間はよいこでいなくっちゃ！

道徳科の評価の基本的態度

道徳科は、道徳教育の目標に基づき、各教科、(外国語活動)、総合的な学習の時間及び特別活動における道徳教育と密接な関連を図りながら、計画的、発展的な指導によって**道徳性を養うことがねらい**である。

道徳性とは、人間としてよりよく生きようとする人格的特性であり道徳的判断力、道徳的心情、道徳的实践意欲及び態度を諸様相とする内面的資質である。このような道徳性が養われたか否かは、**容易に判断できるものではない**。

しかし、道徳性を養うことを学習活動として行う道徳科の指導では、その**学習状況**や**成長の様子**を適切に把握し、**評価することが求められる**。

第5章 第2節 道徳科における児童(生徒)の学習状況及び成長の様子についての評価

一面的な見方から多面的・多角的な見方へと発展させているかどうか

- ・道徳的価値に関わる問題に対する判断の根拠やそのときの心情を様々な視点から捉え考えようとしている
- ・自分と違う立場や感じ方、考え方を理解しようとしている
- ・複数の道徳的価値の対立が生じる場面において取り得る行動を多面的・多角的に考えようとしている

など

道徳的価値の理解を自分自身との関わりの中で深めているかどうか

- ・読み物教材の登場人物を自分に置き換えて考え、自分なりに具体的にイメージして理解しようとしている
- ・現在の自分自身を振り返り、自らの行動や考えを見直していることがうかがえる部分に着目している
- ・道徳的な問題に対して自己の取り得る行動と他者と議論する中で、道徳的価値の理解を更に深めている
- ・道徳的価値の実現することの難しさを自分のこととして捉え、考えようとしている

など

道徳科における評価

学習状況や道徳性に係る成長の様子を継続的に把握

第1回 	第2回 	第3回 	第4回
第5回 	第6回 	第7回 	第8回
第9回 	第10回 	第11回 	第12回

年間や学期(例:1学期12回の授業)
個々の内容項目ごとではなく、**大きくりなまとまり**を踏まえた評価

道徳科における評価

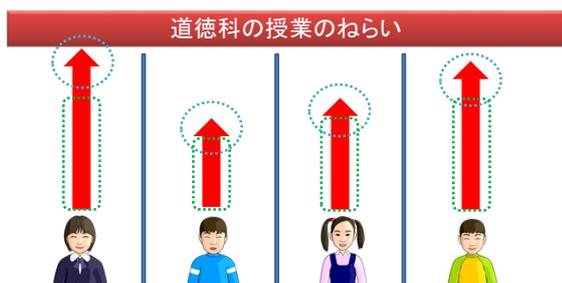
学習状況や道徳性に係る成長の様子を継続的に把握

第1回 	第2回 	第3回 	第4回
第5回 	第6回 	第7回 	第8回
第9回 	第10回 	第11回 	第12回

個人の目標に向けた学習状況ごとに横並びにして、**突出したところをよさと認める**

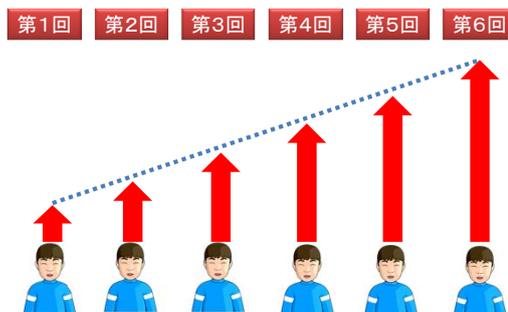
道徳科における評価

成長を受け止めて認め、励ます**個人内評価**



道徳科における評価

学習状況や道徳性に係る成長の様子を継続的に把握



学習状況を時間的に縦に並べて、**進歩の状況を認める**

評価のための具体的な工夫例

- ・児童生徒の学習の過程や成果などの記録を計画的にファイルに蓄積したもの
- ・児童生徒が道徳性を養っていく過程での児童生徒自身のエピソードを累積したもの
- ・作文やレポート、スピーチやプレゼンテーションなど具体的な学習の過程
- ・児童生徒が行う自己評価や相互評価 等

組織的、計画的な評価の推進例

- ・学年ごとに評価のために集める資料や評価方法等を明確にしておく
- ・評価結果について教師間で検討し評価の視点などについて共通理解を図ること
- ・評価に関する実践事例を蓄積し共有すること

妥当性

信頼性

自信

負担感軽減

これから特に配慮すべきこと

- ・授業中の発言がほとんどない。
- ・文章表現が得意ではない。
- ・表情にも表れにくい。

・授業でどのように見取っていくのかを校内で検討しておくことが必要

・授業者は、意図的に観察したり、指名したりして、評価できる根拠を集めることが必要

これから特に配慮すべきこと

評価のための指導ではない！

評価ができる道徳科の学習が「考え、議論する道徳」でもある。

・道徳的諸価値の理解を基に、自己を見つめ、物事を(広い視野から)多面的・多角的に考え、自己の(人間としての)生き方についての考えを深める学習

子供の考えを引き出す教師の働きかけ

書く活動を取り入れてみる。



一年生でも書けるようになります。



子供の考えを引き出す教師の働きかけ

ペアやグループでの話し合いを取り入れてみる。



体験的な学習を取り入れてみる。



教具を活用してみる。

子供の考えを引き出す教師の働きかけ



そばに行って聞いてみる。



そして、何よりも、自信をもって発言できる学級の雰囲気をつくる。

「困難さの状態」を把握した 道徳科の指導と評価への配慮

- ・発達障害のある児童生徒
- ・海外から帰国した児童生徒
- ・日本語習得に困難のある児童生徒 等



授業に対する評価

道徳科の学習指導過程や指導方法に関する評価の観点の例

- ア** 学習指導過程は、道徳科の特質を生かし、道徳的価値の理解を基に自己を見つめ、自己の（人間としての）生き方について考えを深められるよう適切に構成されていたか。また、指導の手立てはねらいに即した適切なものとなっていたか。
- イ** 発問は、児童（生徒）が（広い視野から）多面的・多角的に考えることができる問い、道徳的価値を自分のこととして捉えることができる問いなど、指導の意図に基づいて的確になされていたか。
- ウ** 児童（生徒）の発言を傾聴して受け止め、発問に対する児童の発言などの反応を、適切に指導に生かしていたか。
- エ** 自分自身との関わりで、物事を（広い視野から）多面的・多角的に考えさせるための、教材や教具の活用は適切であったか。
- オ** ねらいとする道徳的価値についての理解を深めるための指導方法は、児童（生徒）の実態や発達の段階にふさわしいものであったか。
- カ** 特に配慮を要する児童（生徒）に適切に対応していたか。

第5章 道徳科の評価 第3節 道徳科の授業に対する評価

指導は、子供が自らのよさや成長を実感できるように工夫するもの

評価は、子供の成長を願って行われるもの

子供にとって
心の成長につながる
いちばんの評価は…

信頼できる先生に認められること

道徳科の授業で大切にしたいこと

道徳科の授業で大切なこと

道徳科のストライク・ゾーンは？



道徳科の授業で大切なこと



道徳科の授業の目標は
 道徳性を養うために内面的資質である
 道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てること

皆さん、
 道徳の授業を
 楽しんで
 いらっしゃいますか？

道徳の授業の楽しさ

- ・授業を行う前に、子供たちのことを考えながら、**にやにや**と授業を構想する楽しみ
- ・授業中に、子供と共に語り合い、**はっとさせられる**楽しみ
- ・授業を終えた後に、子供たちの様子から手応えを感じ、**充実感を味わう**楽しみ

道徳の授業はメイク・ドラマである…

文部科学省 道徳教育アーカイブ



<https://doutoku.mext.go.jp/>



道徳科の授業は…
 未来への投資から教育課題への一手へ

量的確保と質的転換

教師が道徳科の授業を楽しみながら…

ご清聴ありがとうございました。